



# 近藤じゅん子 通信 Vol.6

## 近藤じゅん子が学校での「がん教育」に講師招聘を提案!!

「渋谷版ネウボラ」産後ケア事業が拡充へ!  
女性視点で学ぶ「防災セミナー」を開催へ!

### 第4回定例会・区議会公明党の代表質問より

平成29年11月27日

#### 防災対策

##### 高層住宅における防災対策

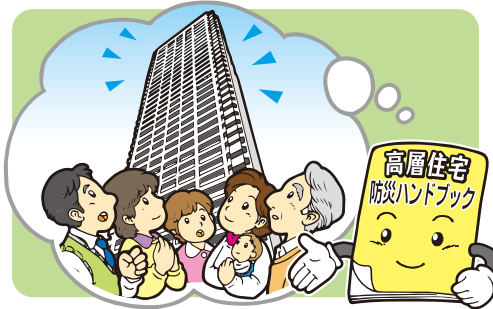
**質問** 高層住宅では地震による家具の被害やエレベーターの停止等、高層住宅特有の被害が予想されます。安全にかつ被災後も自宅で生活を続けていくためには、高層住宅の震災対策の強化が重要だと考えます。

また、高層住宅の住民の方は、地域との交流が図られていない場合が多く、防災行政の情報も届きにくいと思われます。

そこで、高層住宅の管理者を対象にアンケートを実施し、高層住宅専用「防災カルテ」を作成し、高層住宅の震災対策を強化することを提案します。そして、高層住宅の震災対策を網羅した「マンション防災ハンドブック」の作成も併せて提案します。  
**答弁** (区長) 高層住宅の入居者も防災訓練に参加していただき、地域との交流を図っていただけるよう、呼びかけてまいります。アンケートの実施や防災カルテの作成については、聞き取り

調査を行い実態を把握してまいります。

また「マンションハンドブック」の作成については、「渋谷区民防災マニュアル」の中に、マンションの防災対策を組み込むことを検討してまいります。



##### 「妊産婦乳児救護所」の設置について

**質問** 東日本大震災の時、避難所で、妊婦や乳児を抱えた母親は大変肩身の狭い思いをされました。また、感染症・早産・流産・産後うつなどの医療保健上のリスクが増大します。

渋谷区地域防災計画に妊産婦・乳児を要配慮者と位置づけて、是非、災害時の妊

産婦・乳児の保護のため、母子救護所の設置を提案します。

**答弁** (区長) 「地域防災計画」では、避難所の特別支援教室、特別支援学級の教室等を活用し、乳幼児や妊産婦に配慮した対応をとることとしており、母子救護所のあり方について、課題としてとらえ研究してまいります。

##### 防災セミナーの開催について

**質問** 防災の基本はとにかく自助です。家具の転倒や、棚から食器などの転落を防ぐための対策。また、避難経路を確保するため、家の片づけをする。そして、自分と家族を守るため、効果的な備蓄をしていく。また、災害時でも、温かいお料理が簡単に作れるパッキングッキング。

こんな女性視点の防災対策、自助の重要性を学ぶために防災セミナーの開催を提案します。  
**答弁** (区長) 女性視点で学ぶ防災セミナーについては、来年度の防災フェスのコラボレーション企画として、多くの皆様が参加できるように、検討いたします。

#### 教育・子育て

##### いじめ許さない渋谷区条例制定について

**質問** 渋谷区に住む私たちは、「いじめは、絶対に許さない。」という認識を持っていきたい。その思いを確固たるものとするた

めに、「いじめを許さないまち渋谷区条例」の制定を提案します。

まずは前段階として、児童・生徒が自発的に「いじめについて考える」ところからスタートするのが良いと考えます。

例えば、区内中学校の代表者・生徒会による「いじめゼロ中学生サミット」を開催し、学校ごとの取組やアイデアを共有するなど、優秀な渋谷区の児童・生徒の力を引き出していけたら素晴らしいと思います。

また、条例制定の過程にあつては、「渋谷区は絶対にいじめを許さない」との根本精神を保護者全員に伝え、意見を募る機会も作って頂きたいと思えます。



**答弁** (区長) いじめ問題は、社会全体で取り組んでいくべき重要な課題です。

子供たちが自発的にいじめについて考える機会を充実していきたいと考えています。その過程で、保護者や地域の

方々を巻き込み、大きなうねりとなつて区民の総意となるよう機運醸成を図つてまいります。

その先に、議員ご提案の「いじめを許さない街。渋谷区条例」があると私も考えています。



### がん教育について

**質問** がん対策をめぐっては、平成28年12月に「がん対策基本法」が改正され、学校教育や社会教育で「がんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする」との項目が新設されました。それを受け、文部科学省は、がん教育の全国展開を目指す事を決め、中学校の次期学習指導要領の保健分野に、がんについての一文が入りました。

がん教育を力強く推進されてこられた東京女子医科大学がんセンター長の林和彦という先生がおられます。

先生の著作のあとがきに、「私は、がん教育を通して、自分のいのちを大切にすることを学んだ子ども達は、いずれは他人のいのちを思いやり、国の将来をも考えられる大人になってくれると信じています。」とあり、私は深く感銘を受けました。

がん教育は、いのちの教育。やはり、教育の力は計り知れませ

ん。お隣の中野区では、既に幾つもの学校で林先生の「がん教育」の授業が行われています。

我が区でも是非、林先生を講師に迎え、まずは、一校から始めてみることを提案いたします。

**答弁**（教育長）疾病構造の変化や高齢化社会など、子供たちをとりまく社会環境や生活環境が大きく変化しており、健康教育もそれらに対応したものとすることが求められています。その中で、がんの状況を踏まえると、がん教育を推進することは大切であると考えます。

一層の充実を図るために、議員からご提案いただいた医師を招聘した、がん教育についても、学校に情報提供することとし、がん教育の推進に引き続き取り組んでまいります。

### 「渋谷版ネウボラ」について

**質問** 我が会派は、各定例会ごと

に、妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援を切れ目なく、包括的に行う「渋谷区版ネウボラ」の実施について継続的に提案をして参りました。

そこで、区民ニーズが高く、かつ緊急性がある「産後ケア」事業の拡充についてお尋ねします。

在宅支援の「にこにこママ」の拡充。また、「宿泊型支援」の導入、そして、悪化すると危険な状況に至ってしまう恐れのある「産後うつ対策」等、「渋谷区版ネ

ウボラ」構築に、先行をして実施を考えている事業がありましたら教えてください。

**答弁**（区長）区では、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施し、母親の育児不安やメンタル面での相談に応じ、助産婦による「母乳相談」や家庭訪問での「母乳ケア」を通じて母乳育児に関する不安や悩みの相談にも応じています。

今後、家族からの援助を受けにくい母子への支援を中心に、育児支援ヘルパー派遣事業「にこにこママ」の拡充、「ショートステイ」の導入など宿泊型サービスを充実させて参ります。

「ショートステイ」においては、慣れない育児や夜中の授乳などでレスパイトが必要な産婦に、母体管理や生活指導、育児指導等を考えております。こうした事業を通じて、産後の不安を解消し、母体の回復や産後のうつの予防を促してまいります。

また、将来的には、3Rの拠点となるような施設の検討も視野に入れてはいかがでしょうか。



### 介護

### 介護勉強会の実施について

**質問** 超高齢社会を生きる私たち

は、必ず大介護時代を迎えます。介護の悩みを抱えている方や、介護保険サービスに関心が

ある方だけでは無く、広く区民の皆様が学んでいけるような講座の開催を提案します。

**答弁**（区長）本区では、区民の自主的な学習会などに、介護保険課の職員を派遣する出前講座を実施しています。

まずは、この出前講座を十分に活用しながら、幅広い世代に対する介護保険制度等の普及啓発に努めてまいります。

### 環境

### 食品ロス削減について

**質問** 先月、開催された「しじやも」

もつたいないマーケット」は、食品ロス削減に向け、可能性を感じるイベントとなりました。

もう少し、フードドライブ受付の機会を増やして頂くことはできないでしょうか。

また、将来的には、3Rの拠点となるような施設の検討も視野に入れてはいかがでしょうか。

**答弁**（区長）食品受付の機会の拡大は、未利用食品の活用を促す点で有効と考えており、引き続き区民の皆様の協力しやすい環境を作り上げながら、拡大したと考えています。

3Rの拠点となる施設の開設については、今後の大きな課題と捉えており、建替えや転用など、既存施設の活用も含めて、検討したいと考えています。

一人の声に真剣！暮らしに全力投球

いつでもお気軽にご相談ください

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 福祉保健委員会
- 五輪・パラリンピック対策特別委員会

渋谷区議会公明党控室  
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962  
携帯 090-2221-7507  
近藤じゅん子のブログ  
<http://ameblo.jp/junkon-junkon-junkon/>

